



2021年度 決算

(2021年4月～2022年3月)

2022年5月11日
塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 手代木 功



1. 2021年度 決算の概要 (P.4-14)
2. 2022年度の業績予想について (P.16-20)
3. 株主還元 (P.22-23)

1. 2021年度 決算の概要

連結経営成績



(単位：億円)

	修正予想** (11/1)	21年度		20年度		対前年	
		実績	対予想 達成率	実績	UP率	増減額	
売上収益	2,940	3,351	114.0%	2,972	12.8%	380	
営業利益	900	1,103	122.6%	1,174	△6.1%	△71	
コア営業利益*	900	1,106	122.9%	940	17.7%	166	
税引前当期利益	1,150	1,263	109.8%	1,430	△11.7%	△168	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,000	1,142	114.2%	1,119	2.1%	23	

- 売上収益および各利益項目は修正予想を達成
 - 売上収益、コア営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は対前年で増収増益
- 各利益項目は1,000億円を超過

為替レート (期中平均)	2021年度前提 (11/1)	2021年度 実績
ドル	110円	112.40円
ポンド	150円	153.53円
ユーロ	130円	130.56円

連結損益計算書



	21年度			20年度		対前年	
	修正予想** (11/1)	実績	対予想 達成率	実績	UP率	増減額	
売上収益	2,940 19.4	3,351 16.5	114.0%	2,972 17.7	12.8%	380	
売上原価	570	554	97.2%	525	5.5%	29	
売上総利益	2,370	2,797	118.0%	2,447	14.3%	351	
販売費・一般管理費	30.3 890	28.4 952	107.0%	32.0 951	0.1%	1	
研究開発費	18.9 555	21.8 730	131.5%	18.3 542	34.6%	187	
その他の収益・費用	△25	△12	46.7%	221	△105.3%	△233	
営業利益	30.6 900	32.9 1,103	122.6%	39.5 1,174	△6.1%	△71	
コア営業利益*	30.6 900	33.0 1,106	122.9%	31.6 940	17.7%	166	
金融収益・費用	250	160	63.8%	256	△37.6%	△96	
税引前当期利益	39.1 1,150	37.7 1,263	109.8%	48.1 1,430	△11.7%	△168	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,000	1,142	114.2%	1,119	2.1%	23	

(単位：億円)

主な増減要因（対予想***）

・ 売上収益

- 増加：ロイヤリティー収入（HIVフランチャイズ）
- 減少：国内医療用医薬品

・ 販売費・一般管理費

- 増加：欧米でのセフィデロコルの上市・販売活動費用、S-217622発売準備費用

・ 研究開発費

- 増加：COVID-19関連の研究開発活動への集中投資

・ 金融収益・費用

- 収益減少：21年度4QにおけるViiV社からの配当金受領の期ずれ

事業別売上収益



(単位：億円)

	21年度			20年度		対前年 UP率 増減額
	修正予想** (11/1)	実績	対予想 達成率	実績		
国内医療用医薬品	944	891	94.4%	947	△5.9%	△56
海外子会社/輸出	350	344	98.3%	246	39.5%	97
シオノギ Inc.	127	138	108.5%	75	84.5%	63
Fetroja®	-	62	-	17	268.7%	46
平安塩野義*/C&O	123	102	82.6%	101	1.1%	1
シオノギB.V. (欧州)	50	50	99.8%	20	153.7%	30
製造受託	178	174	97.9%	197	△11.7%	△23
一般用医薬品	134	112	83.0%	117	△4.8%	△6
ロイヤリティー収入	1,320	1,813	137.4%	1,446	25.3%	366
HIVフランチャイズ	1,252	1,740	138.9%	1,234	41.0%	506
クレストール®	-	12	-	166	△93.1%	△154
その他	67	61	91.5%	47	30.8%	14
その他	14	18	124.4%	18	1.7%	0
合計	2,940	3,351	114.0%	2,972	12.8%	380

主な増減要因 (対予想***)

- **国内医療用医薬品**
 - 減少：インフルエンザファミリーの売上
- **海外子会社/輸出**
 - 米国：増加：セフィデロコル (Fetroja®) の売上
 - 中国：減少：オンライン医療プラットフォームでの売上
- **一般用医薬品**
 - 減少：イソジン®の売上
- **ロイヤリティー収入**
 - HIVフランチャイズ
 - ：増加：dolutegravirの特許ライセンス契約締結によるロイヤリティー収入（一過性要因）
 - 一時金を除くHIVロイヤリティー収入は対前年で増加

国内医療用医薬品売上収益



(単位：億円)

	21年度		20年度	対前年	
	修正予想* (11/1)	実績	実績	UP率	増減額
サインバルタ®	171	159	265	△39.9%	△106
インチュニブ®	166	164	131	25.4%	33
ビバンセ®	10	8	3	190.7%	5
感染症薬	166	118	98	20.8%	20
インフルエンザファミリー	79	31	3	-	28
オキシコンチン®類	50	48	53	△10.0%	△5
スインプロイク®	31	27	23	17.9%	4
アシテア®	4	5	3	45.1%	2
ムルプレタ®	1	1	1	8.9%	0
ピレスバ®	35	38	51	△25.3%	△13
その他	308	324	320	1.2%	4
クレストール®	57	59	67	△11.0%	△7
イルベタン®類	31	32	33	△5.0%	△2
国内医療用医薬品	944	891	947	△5.9%	△56

＜感染症薬構成製品＞

- ・ ゾフルーザ®
- ・ ラピアクタ®
- ・ ブライトボック®Flu・Neo

- ・ フィニバックス®
- ・ フルマリン®
- ・ フロモックス®

- ・ シオマリン®
- ・ バンコマイシン
- ・ バクタ®

- ・ フラジール®
- ・ イソジン®

- **国内売上**

- 国内医療用医薬品は、インフルエンザの極めて小規模な流行の影響により未達
- 一般用医薬品は、新製品が好調に推移したが、イソジン等の売上減により未達

- **海外売上**

- 欧米でのセフィデロコルの売上が順調に進捗

- **販売費・一般管理費**

- 欧米でのセフィデロコルの上市・販売活動費用の増加

- **研究開発費**

- COVID-19関連の研究開発活動への集中投資に伴い、過去最大金額となる730億円（対前年で187億増）

- **Gilead社とのdolutegravir特許侵害訴訟の和解**

- 特許ライセンス契約の締結による一時金および将来受領予定のロイヤリティー相当分を売上収益として認識

当初予想および修正予想を達成

COVID-19の早期終息に向けた取り組み



流行予測



下水疫学調査サービスの
立ち上げ

AdvanSentinel設立
BA.2株の早期検出
(次頁参照)

予防



S-268019の開発

追加免疫試験で
コミナティ筋注（ファイザー
社）との非劣性を検証

診断



Th2ケモカインTARC* キット、
抗原検査キット

唾液検体による
抗原検査キット**
の共同販売

治療



S-217622の開発

Ph2a/2bの結果をもって
国内承認申請完了

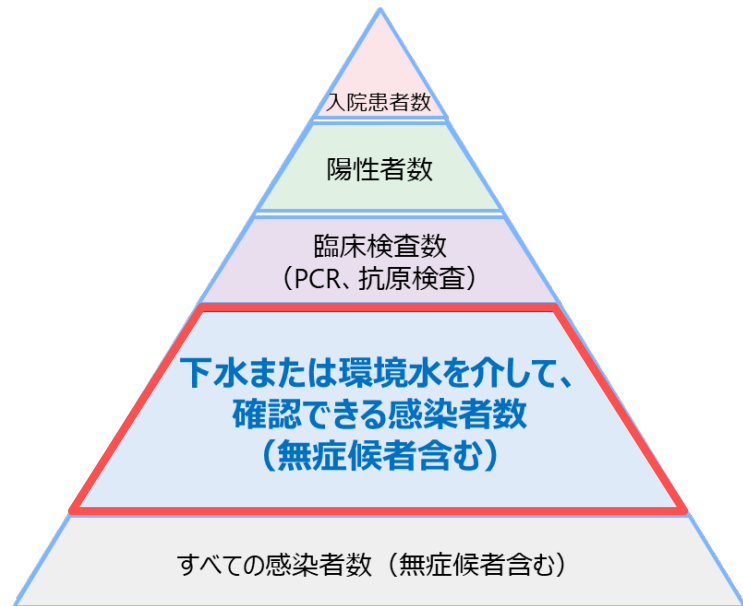
重症化抑制



Asapiprantの開発

Ph2試験実施中

治療薬・予防ワクチンの年度内実用化には至らなかったものの、
既成概念を打破するスピードで取り組みを大きく進展



※ WHO : Environmental surveillance for SARS-COV-2 to complement public health surveillance
– Interim Guidanceより一部改変^{*1}

AdvanSentinel

- 日本における下水モニタリングの早期社会実装
 - 島津製作所とのパートナーリング
 - **臨床検査でのバイアスの影響を受けにくく、社会全体のより正確な感染状況の把握に必須の技術**
 - 米欧ではパンデミックをきっかけに社会実装が進展
 - > 米国：CDCが主導し全米46州で下水モニタリングを展開、臨床検査数と合わせてDashboardでデータを公開^{*2}
 - > 欧州：欧州委員会の勧告に全加盟国が同意し、約1,370の下水処理場で定期的なモニタリングを実施し、データを加盟国間で共有^{*3}
- 2022年度の取り組み
 - 補正予算・国土交通省事業を通じた**下水疫学調査の普及・エビデンス構築活動**
 - **超高感度かつ自動化可能な新手法のKit販売**

**超高感度かつ自動化可能な新手法を確立し、
グローバルでのより正確な感染状況の把握に貢献**

^{*1} Environmental surveillance for SARS-COV-2 to complement public health surveillance – Interim Guidance (who.int)

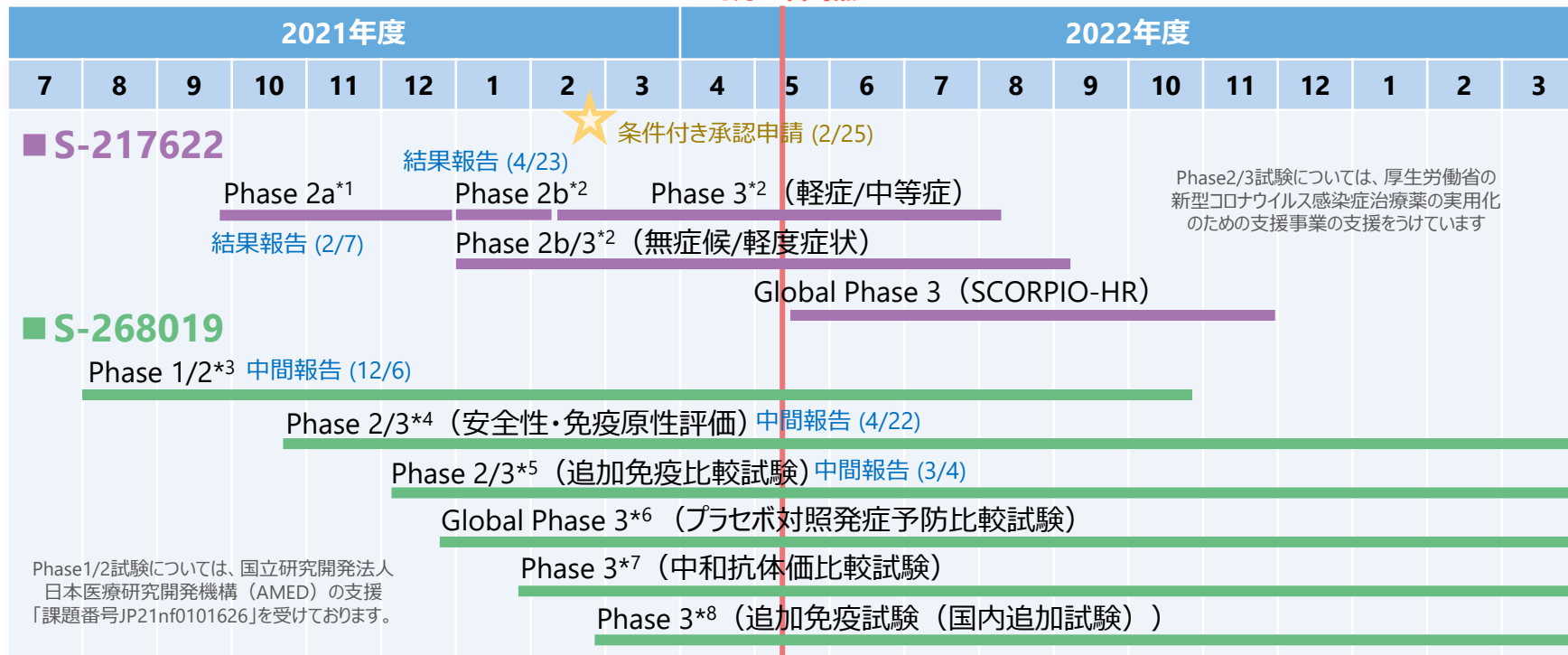
^{*2} National Wastewater Surveillance System (NWSS) – a new public health tool to understand COVID-19 spread in a community | CDC

^{*3} Coronavirus response: monitoring of wastewater contributes to tracking coronavirus and variants across all EU countries (europa.eu)

S-217622, S-268019の進捗サマリー



2022年
5月11日時点





S-217622（経口治療薬）

- **国内製造販売承認申請**

- Phase 2b partの評価項目の解析結果をもとに申請（2022年2月25日）

- **Phase 2b結果報告**

- 32nd ECCMID* にて有効性と安全性に関する結果を発表

- **Phase 2/3試験の継続**

- Phase 3 part（軽症/中等症）およびPhase 2b/3 part（無症候/軽度症状）を実施中
 - ＞ ベトナム、韓国含め症例登録は順調に進捗

- **グローバルPhase 3試験**

- ACTG** と共同でACTIV-2d（SCORPIO-HR試験）の開始に向けた取り組み

- **供給**

- 100万人分の生産を完了
- 4月以降、自社で年間1,000万人分以上の供給を目指し、生産を拡大中
- グローバル供給体制構築に向け準備開始

国内、グローバルへの提供に向けて各種取り組みが進展



S-268019（遺伝子組換えタンパクワクチン）

最終段階の5つの臨床試験を実施中

• Phase 2/3試験

- 20歳以上の成人および65歳以上の高齢者3,100例を対象とした安全性・免疫原性評価試験
- 結果速報：感染症学会で発表（2022年4月22日）

• 中和抗体価比較試験

- バキスゼブリア筋注（アストラゼネカ社）に対する優越性検証試験
- 5月中旬に結果速報入手（論文にて公開予定）

• 追加免疫比較試験

- コミナティ筋注（ファイザー社）2回接種後の追加免疫によるコミナティ筋注との非劣性検証試験
- 主要評価項目を達成

• 追加免疫比較試験（国内追加試験）

- スパイクボックス筋注（モデルナ社）を2回接種した20歳～64歳の成人およびコミナティ筋注またはスパイクボックス筋注を2回接種した65歳以上の高齢者を対象
- 5月中旬に結果速報入手

• プラセボ対照発症予防比較試験

- 2021年12月よりベトナムで先行開始
- 症例登録は順調に進捗

初回免疫および追加免疫の両適応取得にむけて各試験を実施中

2021年度の成果と積み残した課題



当期の成果

業績予想達成

COVID-19関連
プロジェクトの進展

意思決定の高度化
とスピード

積み残した課題

COVID-19治療薬、
ワクチンの早期実用化

成長ドライバーの
育成

国内/海外事業
の強化

COVID-19に対するソリューションを早期提供しながら、
中長期的な成長に向けた取り組みに注力

2. 2022年度の業績予想

-

業績予想（連結経営成績）



（単位：億円）

	22年度		21年度	対前年	
	通期予想	上期予想	実績	UP率	増減額
売上収益	4,000	1,800	3,351	19.4%	649
営業利益	1,200	570	1,103	8.8%	97
コア営業利益*	1,200	570	1,106	8.5%	94
税引前利益	1,680	860	1,263	33.0%	417
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,360	715	1,142	19.1%	218

COVID-19関連プロジェクトによる収益を
次なる成長につなげるための1年

為替レート （期中平均）	2022年度 前提	2021年度 実績
ドル	125円	112.40円
ポンド	160円	153.53円
ユーロ	135円	130.56円

業績予想（連結損益計算書）



（単位：億円）

	22年度		21年度	対前年（通期）	
	通期予想	上期予想	実績	UP率	増減額
売上収益	4,000	1,800	3,351	19.4%	649
売上原価	22.0 880	17.5 315	16.5 554	58.8%	326
売上総利益	3,120	1,485	2,797	11.5%	323
販売費・一般管理費	30.0 1,200	32.8 590	28.4 952	26.0%	248
研究開発費	17.5 700	17.8 320	21.8 730	△4.1%	△30
その他の収益・費用	△20	△5	△12	71.5%	△8
営業利益	30.0 1,200	31.7 570	32.9 1,103	8.8%	97
コア営業利益*	30.0 1,200	31.7 570	33.0 1,106	8.5%	94
金融収益・費用	480	290	160	200.8%	320
税引前利益	42.0 1,680	47.8 860	37.7 1,263	33.0%	417
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,360	715	1,142	19.1%	218

* 営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益

業績予想（事業別売上収益）



（単位：億円）

	22年度		21年度	対前年	
	通期予想	上期予想	実績	UP率	増減額
国内医療用医薬品	786	355	891	△11.8%	△105
海外子会社/輸出	416	181	344	21.2%	73
シオノギ Inc.	130	60	138	△6.0%	△8
平安塩野義*/C&O	148	63	102	45.1%	46
シオノギB.V.（欧州）	84	34	50	67.9%	34
製造受託	148	63	174	△15.3%	△27
一般用医薬品	134	63	112	20.0%	22
ロイヤリティー収入	1,404	682	1,813	△22.5%	△409
HIVフランチャイズ	1,339	670	1,740	△23.0%	△401
クレストール®	-	-	12	-	△12
その他	65	12	61	5.9%	4
COVID-19関連製品**	1,100	450	-	-	-
その他	12	6	18	△65.3%	△6
合計	4,000	1,800	3,351	19.4%	649

感染症リーディングカンパニーとしての中長期的なコミットメント



シオノギが取り組むべき重要課題：『感染症の脅威からの解放』

業界活動、研究開発基金への参画

- AMR* Action Fund、GHIT Fund等への参画を通じた研究開発投資、技術的なサポート提供
- 健全な市場形成に向けた各国政府との対話
- 治験ネットワークの構築やグローバルでの規制調和に対する働き掛け

自社の強みを活かした創薬研究開発の継続

- ウイルス感染症、三大感染症、AMRを含む重症感染症への取り組み
- 顧みられない熱帯病（NTDs）への取り組み
- 感染症トータルケアへの展開

イノベーションの創出、製品価値最大化に向けた提携

- 感染症に取り組むアカデミア、ベンチャー、他業種とのコラボレーション
- 海外開発・販売に関する提携
- LMICsでの医薬品アクセスの拡大に向けたパートナーリング

感染症におけるアンメットニーズの充足、未知なる脅威への備えとしてイノベーションを維持するためには、研究者や研究機関の継続的な輩出、支援ならびに育成が不可欠

日本国内における研究援助・奨励を行うシオノギ独自の新財団を設立

一般財団法人 シオノギ感染症研究振興財団の設立



• 設立の背景

- 社会・経済：100年に一度のCOVID-19パンデミックを起点に感染症研究の重要性を再認識
- 製薬企業：感染症への取り組みは事業性の観点から縮小・撤退傾向、研究員の雇用機会喪失
- アカデミア：疾患領域に限らず資金・雇用不足、市場規模の小さい感染症領域への敬遠により若手研究員の育成に支障

⇒ **新たなアカデミア研究支援のスキームを検討**

• 事業の内容（年間活動費：約3億円を予定）

- 感染症に関する研究助成、顕著な功績のあった業績に対する褒賞
- 感染症に関する各種講演会およびシンポジウムの開催 など

• 三井住友信託銀行を受託者、新財団を受益者とする自己株式の有利発行（300万株）

- 2022年6月23日開催の第157回定時株主総会における特別決議事項として上程

**感染症領域の研究を援助・奨励し、学術の振興および人類の福祉に
寄与することで、企業としての社会的責任を果たす**

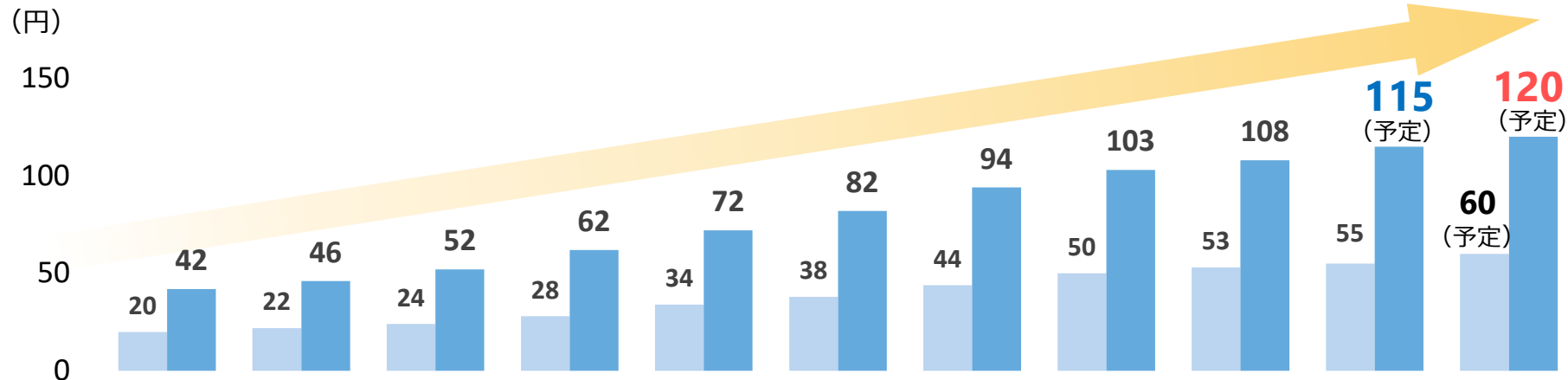
3. 株主還元

機動的な資本政策



・ シオノギの成長とともに実感していただける株主還元政策

- 自己株式の取得・消却、政策保有株の持合い削減も含め、資本効率を向上
- 2022年度も**11期連続の増配を予定**



年度		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
株式自己	取得額	-	-	300億円	-	350億円	294億円	500億円	500億円	500億円	-	500億円**
	消却数	-	-	-	-	2,200万株	500万株	735万株	520万株*	-	-	420万株
DOE (%)		3.7	3.5	3.7	4.1	4.5	4.6	4.6	4.0	4.1	3.8 (予定)	3.6 (予想)
ROE (%)		17.5	9.2	9.4	13.6	16.3	19.4	20.9	15.5	13.9	12.5	13.8 (予想)

新財団設立に伴う自己株式の処分、取得および消却

自己株式の処分（有利発行）

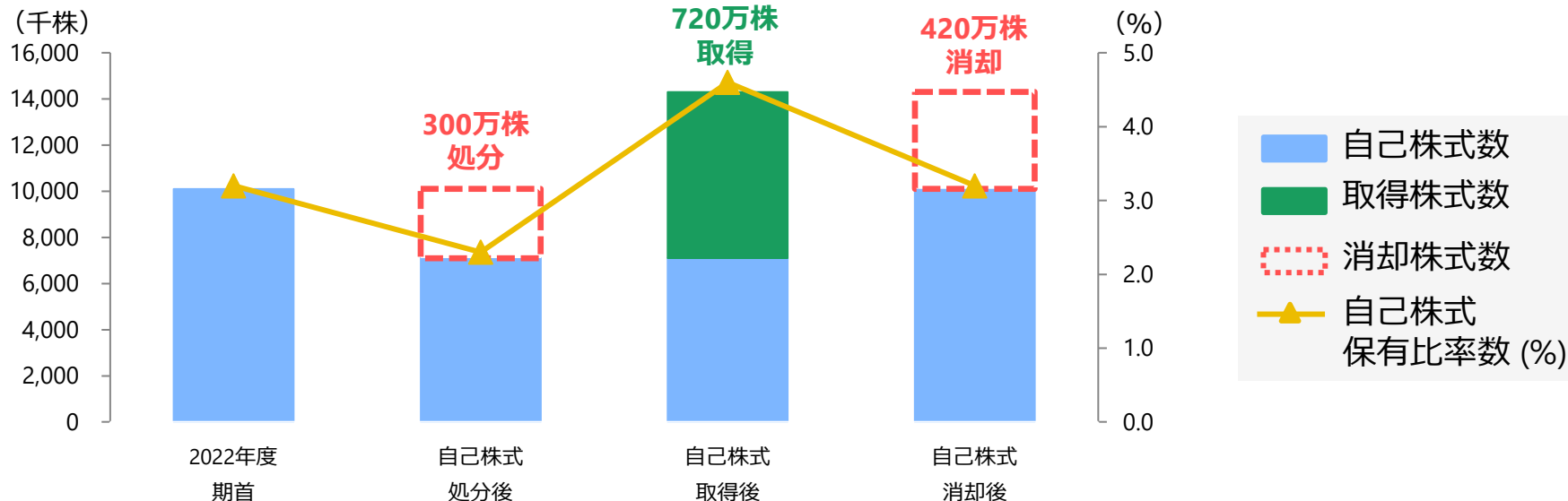
- ・ 処分株式数：300万株
- ・ 処分期日：2022/6/23日開催予定の株主総会後の取締役会にて決定

自己株式の取得

- ・ 取得し得る株式の総数：720万株（上限）
- ・ 取得価額の総額：500億円（上限）
- ・ 取得期間：2022/6/23日開催予定の株主総会終了後～2022/12/31

自己株式の消却

- ・ 消却する株式の総数：420万株
- ・ 消却予定日：2023/2/10



Appendix

開発パイプラインの状況_感染症



2022年5月11日現在

非臨床

Phase 1

Phase 2

Phase 3

申請

S-872600

インフルエンザ予防ワクチン
(経鼻)

S-880008

COVID-19の治療
(ペプチド)

S-875670 Up

COVID-19の予防ワクチン
(経鼻)

S-554110 Up

非結核性抗酸菌感染症

S-540956

核酸アジュバント

S-337395 Up

RSウイルス感染症



: グローバル開発



アウトライゼンス

S-365598

HIV感染症

S-555739

[asapiprant]
COVID-19の重症化抑制

S-217622*

COVID-19の治療

S-268019

COVID-19の予防ワクチン
(筋注)

S-268019

COVID-19の予防ワクチン
(筋注)

セフィデロコル

好気性グラム陰性菌感染症
(小児)

S-217622* Up

COVID-19の治療

* Phase 2/3実施中

セフィデロコル Up

各種感染症

ゾフルーザ®

インフルエンザウイルス感染症
(顆粒剤、20kg未満)

Xofluza® (米国)

インフルエンザウイルス感染症
(小児、1歳以上)

Xofluza®

インフルエンザウイルス感染症
(小児、1歳未満)

Xofluza®

インフルエンザウイルス感染症
(伝播抑制)

ステージ変更 (2022年1月31日からの変更点)

S-217622 (COVID-19の治療) : 申請
セフィデロコル (各種感染症) : 申請
S-875670 (COVID-19の予防ワクチン : 経鼻)
S-554110 (非結核性抗酸菌感染症)
S-337395 (RSウイルス感染症)

開発パイプラインの状況_精神・神経



2022年5月11日現在



S-874713 各種精神疾患	S-600918 [シボピキサント] 神経障害性疼痛	S-600918 [シボピキサント] 難治性・原因不明慢性痙攣	S-600918 [シボピキサント] 難治性・原因不明慢性痙攣	S-812217 [zuranolone] うつ病・うつ状態
S-109802 脳卒中後上肢・下肢痙縮	S-010887 神経障害性疼痛	BPN14770 [zatolmilast] アルツハイマー型認知症	BPN14770 [zatolmilast] アルツハイマー型認知症	BPN14770** [zatolmilast] 脆弱X症候群 Up
	S-120083 炎症性疼痛		Rizmoic* オピオイド誘発性便秘症 (小児)	SDT-001 ADHD患者の不注意症状 (小児) Up
	S-117957 不眠症		* Phase1/2実施中 S-120083 炎症性疼痛	

** Phase2b/3実施中

アウトライゼンス

S-0373
[ロバチレリン]
脊髄小脳変性症

: グローバル開発

ステージ変更 (2022年1月31日からの変更点)

BPN14770 (脆弱X症候群) : Phase2b/3開始
SDT-001 : Phase3開始
S-637880 (神経障害性腰痛) : 開発中止

開発パイプラインの状況_新たな成長領域



2022年5月11日現在



 : グローバル開発

業績予想（国内医療用医薬品売上収益）



（単位：億円）

	22年度		21年度	対前年	
	通期予想	上期予想	実績	UP率	増減額
インチュニブ®	195	90	164	19.1%	31
ビバンセ®	11	5	8	38.9%	3
感染症薬	134	43	118	13.6%	16
インフルエンザファミリー	51	3	31	66.5%	20
サインバルタ®	61	31	159	△61.7%	△98
オキシコンチン®類	45	23	48	△6.5%	△3
スインプロイク®	33	15	27	24.1%	6
アシテア®	6	3	5	16.4%	1
ムルプレタ®	1	1	1	2.4%	0
ピレスパ®	24	12	38	△37.8%	△14
その他	276	133	324	△14.6%	△47
クレストール®	33	17	59	△43.6%	△26
イルバタン®類	26	12	32	△18.8%	△6
国内医療用医薬品	786	355	891	△11.8%	△105

＜感染症薬構成製品＞

- ・ ゾフルーザ®
- ・ ラピアクタ®
- ・ ブライトボック®Flu・Neo

- ・ フィニバックス®
- ・ フルマリン®
- ・ フロモックス®

- ・ シオマリン®
- ・ バンコマイシン
- ・ バクタ®

- ・ フラジール®
- ・ イソジン®

国内医療用医薬品売上収益



(単位：億円)

	修正予想* (11/1)	21年度		20年度		対前年	
		実績	対予想 達成率	実績	UP率	増減額	
サインバルタ®	171	159	92.9%	265	△39.9%	△106	
インチュブ®	166	164	98.5%	131	25.4%	33	
ビバンセ®	10	8	74.9%	3	190.7%	5	
感染症薬	166	118	70.9%	98	20.8%	20	
インフルエンザファミリー	79	31	39.0%	3	-	28	
オキシコンチン®類	50	48	95.9%	53	△10.0%	△5	
スインプロイク®	31	27	85.8%	23	17.9%	4	
アシテア®	4	5	129.4%	3	45.1%	2	
ムルプレタ®	1	1	92.0%	1	8.9%	0	
ピレスバ®	35	38	109.6%	51	△25.3%	△13	
その他	308	324	104.9%	320	1.2%	4	
クレストール®	57	59	104.2%	67	△11.0%	△7	
イルベタン®類	31	32	103.0%	33	△5.0%	△2	
国内医療用医薬品	944	891	94.4%	947	△5.9%	△56	

＜感染症薬構成製品＞

- ・ ゾフルーザ®
- ・ ラピアクタ®
- ・ ブライトボック®Flu・Neo

- ・ フィニバックス®
- ・ フルマリン®
- ・ フロモックス®

- ・ シオマリン®
- ・ バンコマイシン
- ・ バクタ®

- ・ フラジール®
- ・ イソジン®

連結損益計算書



	21年度			20年度		対前年
	修正予想** (11/1)	実績	対予想 達成率	実績	UP率	増減額
売上収益	2,940 19.4	3,351 16.5	114.0%	2,972 17.7	12.8%	380
売上原価	570	554	97.2%	525	5.5%	29
売上総利益	2,370	2,797	118.0%	2,447	14.3%	351
販売費・一般管理費	30.3 890	28.4 952	107.0%	32.0 951	0.1%	1
研究開発費	18.9 555	21.8 730	131.5%	18.3 542	34.6%	187
その他の収益・費用	△25	△ 12	46.7%	221	△ 105.3%	△ 233
営業利益	30.6 900	32.9 1,103	122.6%	39.5 1,174	△ 6.1%	△ 71
コア営業利益*	30.6 900	33.0 1,106	122.9%	31.6 940	17.7%	166
金融収益・費用	250	160	63.8%	256	△ 37.6%	△ 96
税引前当期利益	39.1 1,150	37.7 1,263	109.8%	48.1 1,430	△ 11.7%	△ 168
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,000	1,142	114.2%	1,119	2.1%	23

(単位：億円)

主な増減要因（対前年）

- **売上収益**
 - 増加：海外子会社/輸出
ロイヤリティー収入（HIVフランチャイズ）
 - 減少：国内医療用医薬品（サインバルタ®）
- **売上原価**
 - 増加：海外事業の伸長に伴うプロダクト・ミックス
- **研究開発費**
 - 増加：COVID-19関連の研究開発活動への集中投資
- **その他の収益・費用**
 - 収益減少：シオノギ渋谷ビルの交換益を前年度3Qに認識（+229億円）
- **金融収益・費用**
 - 収益減少：21年度4QにおけるViiV社からの配当金受領の期ずれ
- **親会社の所有者に帰属する当期利益**
 - 増加：大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金

事業別売上収益



(単位：億円)

主な増減要因（対前年）

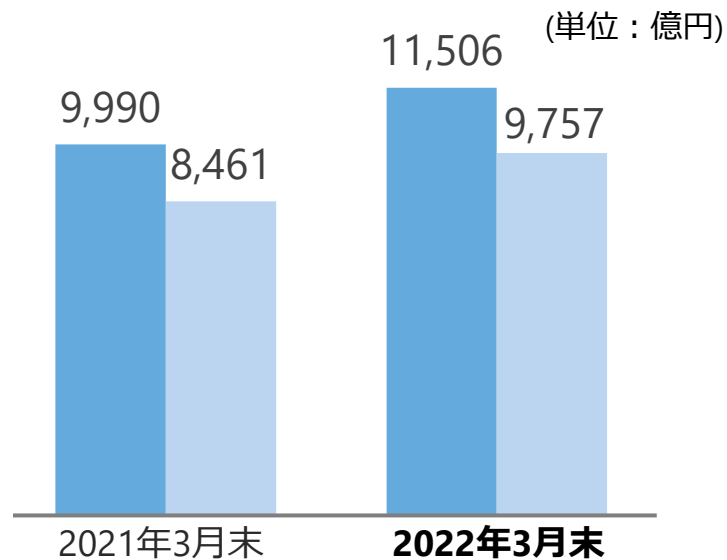
- 国内医療用医薬品**
 - 減少：サインバルタ®の売上
- 海外子会社/輸出**
 - 米国：増加：セフィデロコル（Fetroja®）の売上
FORTAMET®販売権等の移管に関する一時金を受領
 - 欧州：増加：セフィデロコル（Fetroja®）の売上
- 製造受託**
 - 増加：ナガセ医薬品の連結子会社化
 - 減少：ゾフルーザ・ドルテグラビル原薬の受託
- ロイヤリティー収入**
 - HIVフランチャイズ
 - ：増加：Dolutegravirの特許ライセンス契約締結による一時金および将来受領予定のロイヤリティー（一過性要因）
 - クレストール®：減少：契約に基づくクレストール®の収入
 - その他：増加：S-365598の導出に関するViiV社とのライセンス契約締結

	21年度			20年度		対前年
	修正予想 (11/1)	実績	対予想 達成率	実績	UP率	増減額
国内医療用医薬品	944	891	94.4%	947	△5.9%	△56
海外子会社/輸出	350	344	98.3%	246	39.5%	97
シオノギ Inc.	127	138	108.5%	75	84.5%	63
Fetroja®	-	62	-	17	268.7%	46
平安塩野義*/C&O	123	102	82.6%	101	1.1%	1
シオノギB.V.（欧州）	50	50	99.8%	20	153.7%	30
製造受託	178	174	97.9%	197	△11.7%	△23
一般用医薬品	134	112	83.0%	117	△4.8%	△6
ロイヤリティー収入	1,320	1,813	137.4%	1,446	25.3%	366
HIVフランチャイズ	1,252	1,740	138.9%	1,234	41.0%	506
クレストール®	-	12	-	166	△93.1%	△154
その他	67	61	91.5%	47	30.8%	14
その他	14	18	124.4%	18	1.7%	0
合計	2,940	3,351	114.0%	2,972	12.8%	380

財政状態（連結、IFRS）



■ 資産 ■ 親会社の所有者に帰属する持分



	2021年 3月末	2022年 3月末
親会社所有者 帰属持分比率	84.7%	84.8%

単位：億円		2021年 3月末	2022年 3月末	増減額
資産	非流動資産	4,428	4,914	486
	流動資産	5,562	6,592	1,030
親会社の所有者に 帰属する持分		8,461	9,757	1,296
負債	非流動負債	343	329	△13
	流動負債	1,002	1,244	242

2月

- GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に2年連続で選定
- CDP2021「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価『サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード』に選出
- 「子どもの未来支援」に関する横浜市との事業連携協定の締結
- 新規抗RSウイルス薬候補S-337395に関する宇部興産との共同開発契約の締結

3月

- 第3回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の「環境サステナブル企業部門」において特別賞を受賞
- 精神疾患領域における診断および治療法の開発に関する株式会社XNef、株式会社国際電気通信基礎技術研究所との多施設共同研究の開始
- セフィデロコルの国内における製造販売承認の申請

4月

- GPIFが採用するESG投資の代表的指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同、および TCFDコンソーシアムへの参画
- B型肝炎に対する治療ワクチンの創製を目指した NECとの共同研究契約の締結
- 株式会社タウンズが新型コロナウイルス抗原迅速診断キット（イムノエース® SARS-CoV-2 Saliva）**の販売を開始
- オピオイド誘発性便秘症治療薬「適秘効®（スインプロイク®）錠 0.2mg」の 台湾における販売の開始

将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。